

教育現場のオンライン授業

新型コロナウイルス感染防止のため、休校を続けている小中高校。生活リズムの乱れや、学習の遅れなど子どもたちの日常に出ている影響を少しでも緩和させようと、県内の教育現場では、趣向を凝らしたライブオンライン授業が展開されている。

(土沢貴弘、勇有花子)

「日常」維持へ趣向

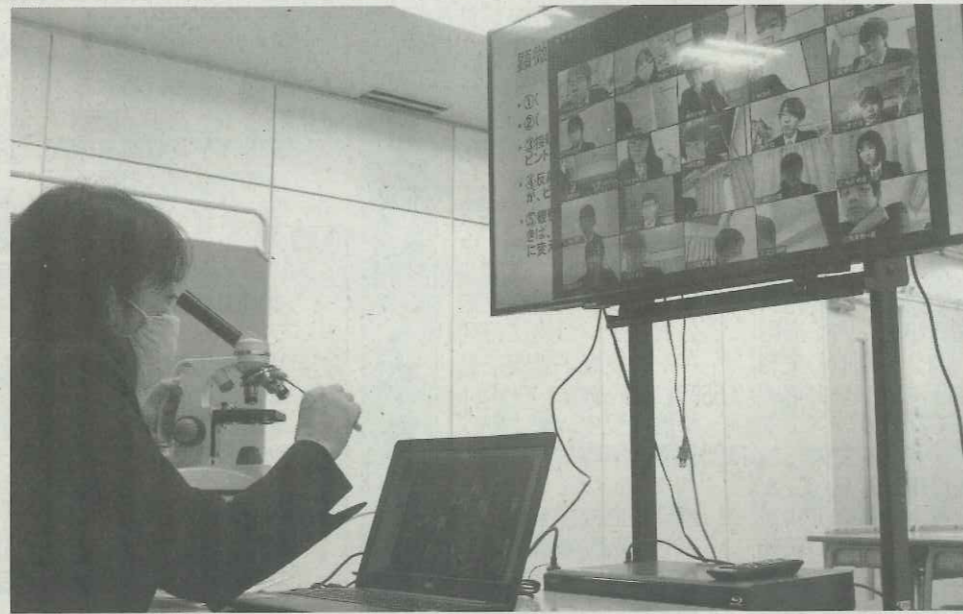
新型コロナ

「みんな集まったかな。じゃあ始めるよ」。今月中旬の9時半ごろ、さいたま市中央区のフリースペース「しばふハウス」の片隅で、オンライン授業の配信が始まった。テーマは「みんなからたを動かそう」。自宅で視聴する画面越しの十数人の子どもたちに向けて、配信者でしばふハウス代表の三尾新さんが、自ら体を動かし、室内での体の動かし方をゲーム形式で展開していく。

普段は、子どもや保護者たちが自由に集い、にぎやかなしばふハウスだが、この時間にはやってきたのは小学2年生の子どもが1人。新型コロナの感染防止の観点から、訪れる利用者は減っている一方、相談は増えているという。

「多くの内容は『子どもたちの生活リズムの乱れ』についての悩み」と三尾さん。多くの相談を受けオンライン会議システムを利用し配信を始めたが、今後も情勢を見ながら配信を続けていく予定だ。

子どもたちの学習の遅れをカバーする取り組みも各地で行われている。



オンライン授業を続ける中で教師たちが配信する授業のレベルも上がっている。さいたま市大宮区のクラーク記念国際高校さいたまキャンパス

運動、学習をサポート

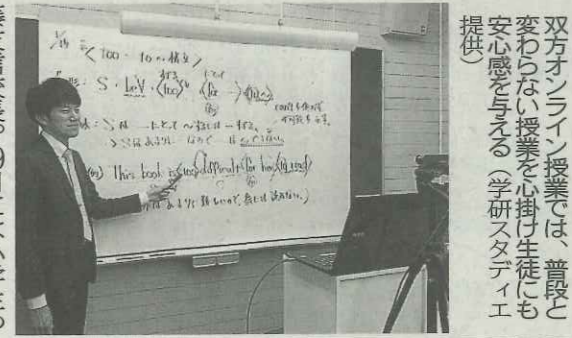
開する学研グループの進学塾オンライン・ワン(さいたま市見沼区)は、塾生3千人を対象に「双方方向オンライン授業」を行う。元々、社内でオンラインによる社員研修などが行われていたため、政府から緊急事態宣言が出された直後からオンライン授業へと切り替えることができた。

授業では、生徒と講師間でリアルタイムに発問・応答が可能。講師たちは子どもたちの反応を確認しながら授業を進めている。

学研スタディエ首都圏教育本部運営統括部の佐久間貴充さんは「外出自粛などで不安が募る中、生徒たちには目標を見失わず、勉強に励んでほしい」とエールを送る。

開智未来中学・高校(加須市妻倉)とクラーク記念国際高校さいたまキャンパス(さいたま市大宮区)では、通常授業と同様の学習習慣をオンライン授業で確保している。

開智未来中学・高校では、生徒のストレスとその対応方法や家庭での安心できる環境づくりなどを記した休校中のガイドラインも作成。今後は休校措置解除後の不安を解消すべく、学校再開に向けたガイドラインを示していくという。「この期間中に生徒たちにはやり抜く力と自制心を養ってほしい」と加



双方オンライン授業では、普段と変わらない授業を心掛けた生徒にも安心感を与える(学研スタディエ提供)

藤友信校長。29日には小学生や中学生の受験生向けにライブ配信で、オンライン学校説明会を開催する予定だ。

クラーク記念国際高校さいたまキャンパスでは、この期間を通して、オンラインを活用した今後の学校運営の可能性を見出しつつある。

22日に実施された1年生の生物の授業では、担当教師が自作のパワーポイント資料を画面上で生徒と共有し、自身は実物の顕微鏡を用いて授業を配信。動画の視聴者の中には、在宅勤務する教師がおり、チャット機能で担当教師の生徒対応のフォローに当たる。今週一太キャンパス長は、「こういった状況がきっかけで始めたオンライン授業だが、進めていく上で今後の使い道の可能性を感じる機会にもなっている」と話す。

休校を解除した後も、悪天候で生徒が登校できない際の授業や、保護者会などで補助的にオンラインの活用を検討していくという。

学費減額100大学に要求

生活困窮で運動拡大

新型コロナウイルスの感染拡大の影響でアルバイト先を失うなど生活苦に追い込まれた大学生らによる学費減額運動が全国で拡大、対象の大学は26日時点で100校以上になった。これまでに10校以上が給付金などの支給に乗り出したが、経営を圧迫する学費の減額には消極的だ。安倍晋三首相が学生の支援に意欲を表明

学費減額を訴える学生団体「高等教育無償化プロジェクトFREED」の集計を基に共同通信が調べた。文部科学省は本年度に開始した低所得世帯の大学生らに対する修学支援制度の対象に、新型コロナ

で家計が激変した世帯も加え、早稲田大が総額5億円の緊急支援策を表明、神奈川大が5万円の支援金給付など対応を始めた大学もあるが、学費減免に踏み込んでいない。収入の約8割を学生の納付金に頼る私立大は、オンライン授

業の導入などで負担が重く「授業料減額は厳しい」と(私大准教授)のが現状だ。芝浦工業大の小野太伸さん(21)はインターネット上で授業料減免を求める署名活動を開始、既に8000人超の賛同を得た。大学のオンライン授業では、高額ソフトを使う授業もあり負担は重い。「生活が苦しく、授業を受けられない学生がいる」と話す。大学側は一律6万円の奨学金給付を決めたが、授業料減額の追加交渉を求めている。

同志社大で署名運動を展開する楠原涼平さん(20)は、大学からは「減額はしない」と回答された。「オンライン授

緊急事態宣言下の学童保育

新型コロナウイルスの感染拡大の中、対策に気を使いがら子どもたちを預かる放課後児童クラブ(学童保育)や保育の現場が疲弊している。学童は小学校休校が続く地域によっては長時間の開所を強いられ、いつまでこの状態が続くか見通せない。乳幼児が通う保育所ではおむつ替えやだっ

が必要で、「3密」を防ぐのは難しいとの声が相次ぐ。――面参照

感染対策で

子ども「1」

▽11時間
「終息が見通せず、指導員に疲れが出ている」。福島市で学童保育施設を運営する山

密は解消されたが「現場は職員のため、朝出て、学童の子と追い詰められている」と話動。そのまま夜も珍しくない。それでも気にいり、子どもたちのこと、来られない子た



障害者海外体験ツアー
さいたま希望の翼
募金のご協力をお願いします
一般財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団
TEL 048-795-9930

県などは26日、ウイルスの感染を拡大する恐れがあるとして、同日までに県内各地の指定医療院は108人。への入院が14人。滞在が54人。自滞者が6人(26日午後10時)が既に回復している。

名古屋市内の学童保育を務める竹(29)は小学校の勤務が長時間化する子どもは、長期休暇の時に午前8時から午後11時間半開所